

監査委員決算審査報告

8月3日（金）から9日（木）にわたり、平成23年度一般会計決算と特別会計決算・企業会計決算と事業実施状況について審査しました。
その結果、次の意見を付しての報告がありました。

監査委員 一 木 邦 彦
監査委員 阿久津 則 男

- 地方債は、将来的に財政圧迫の要因ともなるので、その縮減については、事業を執行するうえで今後とも特に留意されたい。
- 合併算定替が平成27年度で終了し、大幅な財源不足を生ずることが予想されるため、中長期的な財政計画等により、持続性のある行政運営の見通しを図ることが緊要である。
- 収入未済額等は、特別会計及び水道事業会計を含めると、年々多額になっており、滞納額の縮減に努めるとともに、健全財政と財源の確保の一助とされたい。
- まだ、震災復興は、庁舎建設など道半ばであり、今後も震災復興のための予算が執行されることになると思われるが、住民サービスの向上を常に心がけ、より効果的、効率的な予算執行がされることを望むものである。

財務比率

	平成23年度	平成22年度	平成21年度
財政力指数	0.39	0.4	0.41
経常収支比率(%)	88.8	84.7	87.2
公債費比率(%)	11.2	11.6	13.5
起債制限比率(%)	7.1	6.9	9.8
地方債現在高(万円)	1,165,621	1,187,138	1,211,519

財政力指数……………「1」に近いほどよく、「1」を超えるほど財源に余裕があることを示す。
経常収支比率……………おおむね70%から80%が標準とされる。
公債費比率……………高いほど自由に使える財源がせばまる。おおむね10%程度
起債制限比率……………過去3年平均で20%以上になると起債の許可が一部制限される。

近隣町村との比較

数字で比べてもかなり厳しい!! 今後の財政はどうなる？

決算見込みを的確に把握して、予算編成及び予算補正を適切に行うなど、限られた財源の効率的な運用を図るよう努めることが大事！

	財政力指数	経常収支比率(%)	実質公債費比率(%)
城里町	0.386	84.7	16.1
茨城町	0.549	80.4	13.3
大洗町	0.785	90.5	7.0
大子町	0.319	85.2	11.9
常陸大宮市	0.455	84.6	13.9

※「茨城県市町村概況（平成24年度版）」より抜粋

実質公債費比率

率が高いほど財政運営が硬直化していることを示しており、18%以上の団体は地方債の発行に際し許可が必要となり、公債費負担適正化計画を策定し、財政の健全化を図る必要がある。さらに、25%以上の団体は一定の地方債の発行が制限される。

平成23年度特別会計決算

特別会計及び企業会計の決算は以下のとおりです。

会計名		歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康 保険会計	事業	23億94,256千円	23億78,603千円	15,653千円
	施設	2億43,381千円	2億39,425千円	3,956千円
後期高齢者医療		1億71,289千円	1億71,210千円	79千円
介護保険	保険	15億76,095千円	15億71,778千円	4,317千円
	サービス	4,336千円	4,335千円	1千円
公共下水道事業		11億90,920千円	10億80,449千円	1億10,471千円
農業集落排水事業		9億16,155千円	8億87,784千円	28,371千円
水道事業	収益的 収入・ 支出	6億36,633千円	5億51,778千円	84,855千円
	資本的 収入・ 支出	2億03,895千円	4億09,816千円	△ 2億05,921千円